

# 活動報告書

作成者  
開沼 敬三

活動名 國學院大學授業フィールドワーク支援 2025年2月27日 10:00~16:45

場所 木もれびの森 (体験) 担当者 平野、本田、黒岩、安達 (AM)、白川、川口 (AM)、大野中公民館 (座学) (敬称略) 北村 (AM)、開沼 (PM) 計8名

## 概要

### ◎ 概要

相模原市と國學院大學との包括連携協定に基づく連携事業として令和6年度は都市の森林として多くの市民に親しまれている「木もれびの森」についてフィールドワークを実施する。ナラ枯れ被害や樹木の高木化・老木化の進行など、森の変化を実感し、それらを踏まえ、みどりの拠点としての有効活用について検討する。

今回は「木もれびの森の森づくりとその保全に関する作業」を実体験する

◎ 主催者：相模原市環境経済局森林政策課・水みどり環境課

◎ 参加者：國學院大學観光まちづくり学部 南雲（なぐも）勝志教授・学生 25名

◎ スケジュール・内容

10:00～ 市職員・大学関係者は中央緑地に集合した後、森の観察をしながらイヌシデ広場へ移動

10:40～ イヌシデ広場で当会員と合流し、朝礼、ラジオ体操後、B地区に移動。安全作業の心得、身支度を行う。3班に分かれて、草刈り体験・間伐体験・薪割体験、振り返りを行う

12:20～ 午前の部を終了し、大野中公民館へ移動

13:45～ 座学（森林政策課・水みどり環境課・NPO法人相模原こもれび）

16:00～ 質疑応答・感想

◎ コメント

相模原市と國學院大學との連携により今後の「木もれびの森」に関する「観光まちづくり」の観点から提案を学生から出してもらうために現場見学と作業を実体験してもらった。現在、相模原市は「木もれびの森保全・活用計画」の見直しと実行計画（案）の策定を進めており、学生の提案がうまくマッチングすればいいと思う



安全作業の説明



薪割体験①



薪割体験②



座学（相模原市）



座学風景



座学（当会）